

授業科目名： 解剖学	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2単位	担当教員 名： 北原秀治 担当形態： 単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目 (中学校及び高等学校保健体育)		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 生理学 (運動生理学を含む。)		
「学位授与の方針」との関係 DP2. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる (専門知) DP4. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる (実践力)			
授業のテーマ及び到達目標 (1) 人体の各器官系の構造と機能を理解し説明できる。 (2) 運動力学の基本的内容について理解し、運動を科学的に説明することができる。 (3) 運動に関わる身体各部分の構造や機能について説明できる。			
授業の概要 人間の体の各パーツの構造と名前、そして機能を知ることと、それらがいかに調和を保っているかを学修する。人体解剖学及び組織学の知識は、外傷や病気を理解する基礎となるため、この知識を基に、医学に関する知識を養う。			
授業計画 第1回：解剖組織学総論 (4大組織と体の構造) 第2回：解剖学1：骨学 (骨、関節の構造) 第3回：解剖学2：筋学 (骨格筋、平滑筋、心筋) 第4回：解剖学3：消化器1 (口腔～肛門) 第5回：解剖学4：消化器2 (肝、胆、膵) 第6回：解剖学5：循環器 (心臓、肺、血管、リンパ管) 第7回：解剖学6：呼吸器 (気管、肺、呼吸の生理) 第8回：解剖学7：泌尿器、生殖器 第9回：解剖学8：中枢神経 (脳、脊髄) 第10回：解剖学9：末梢神経1 (脳神経) 第11回：解剖学10：末梢神経2 (脊髄神経) 第12回：解剖学11：感覚器1 (視覚、聴覚、平行覚) 第13回：解剖学12：感覚器2 (味覚、嗅覚)、外皮 第14回：解剖学13：炎症性疾患、外傷 (骨折、脱臼)、腫瘍性疾患の病態学 第15回：解剖学14：骨、筋の生理学、体の恒常性			
スクーリングでの学修			
テキスト 「解剖学 改訂第2版」 岸清著 (全国柔道整復師学校協会監修) 医歯薬出版、978-4-263-24155-4			
参考書・参考資料等 クラスルームにて指示する。			
学生に対する評価 レポート評価 (50%)、科目修得試験 (50%)			